

## 生物多様性/森林保全に関するポリシー

ペプチドリームグループは、生物多様性の保全が世界的に喫緊の課題となっている中、生物多様性への影響を低減し地球環境に配慮した事業活動を行っていくことの重要性を認識しています。当社グループは、生物の多様なつながりがもたらす恩恵に感謝し、事業活動がバリューチェーンにおいて生物多様性に及ぼす影響について把握し、その低減に努めることにより、生物多様性の保全に貢献します。当社グループでは、生物多様性の保全をマテリアリティとして捉え、取締役会が主体となって取り組み内容等の審議、決定を行っています。

- ・事業活動が生物多様性に与える影響について、環境汚染、水資源の消費、気候変動のそれぞれの観点から関連指標をモニタリングし、情報の開示を進めるとともに、生物多様性関連リスクの回避・緩和に努めます。
- ・事業活動が生物多様性に与える負の影響については、回避・低減・回復・相殺の優先順位により取り組みを推進していきます。
- ・国内外を問わず、生物多様性が脅かされている地域、または保護対象地域の近隣において操業活動を行いません。
- ・創薬研究において使用する病原性微生物や遺伝子組み換え生物の取り扱いにおいては、カルタヘナ法と各国の法令に基づく適正な利用・管理を行い、バイオセーフティに努めます。
- ・パートナー企業やサプライヤーなどのステークホルダーとの対話や協働を通じて、バリューチェーン全体における生物多様性保全に向けた取り組みを効果的に推進していきます。

※本ポリシーはペプチドリームグループの事業活動を適用範囲とする

以上

2025年9月改訂